

令和6年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


子どもの食と栄養

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル（HB～B）で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の表は、ある食品の成分表示である。適切なものを一つ選びなさい。

栄養成分表示 (200 ml あたり)	
エネルギー	126 kcal
炭水化物	9.9 g
たんぱく質	6.8 g
脂 質	7.8 g
食塩相当量	0.2 g
カルシウム	230 mg
アレルギー物質 (特定原材料等) 乳成分	

- 1 バナナ
- 2 豆乳
- 3 牛乳
- 4 牛肉
- 5 脱脂粉乳

問2 次の文は、「日本人の食事摂取基準 (2020年版)」(厚生労働省)における炭水化物の目標量 (1歳以上)に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 1日のエネルギーのうち 20~30%
- 2 1日のエネルギーのうち 30~50%
- 3 1日のエネルギーのうち 50~65%
- 4 1日のエネルギーのうち 65~80%
- 5 1日のエネルギーのうち 80%以上

問3 次の文は、食料自給率に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 国の食料供給に対する国内生産の割合を示す指標である。
- 2 日本の食料自給率は、食生活の変化により2000（平成12）年まで低下傾向が続いた。
- 3 日本の食料自給率は、2010（平成22）年ごろから増加に転じている。
- 4 米の自給率は、95%以上である。
- 5 大豆の自給率は、10%未満である。

問4 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

Fちゃん（生後7か月、女兒）は、朝と昼の1日2回、離乳食をとっている。母乳育児を継続している。発育は標準的で、排尿排便の回数も異常はない。

**【設問】**

Fちゃんの授乳回数（1日あたり）として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 昼夜の関係なく、いつでも授乳する。
- 2 授乳のリズムに沿って子どもの欲するままに与える。
- 3 3回
- 4 2回
- 5 1回

問5 次の文は、幼児の「遊び食べ」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「平成27年度乳幼児栄養調査」(厚生労働省)の結果によると、「保護者の困っていること」として、2～3歳の子どもで1番多い。
- B 年齢とともに、「保護者の困っていること」としては減る。
- C 手で食べ物をさわるのは、一人で上手に食べられるようになるための過程である。
- D 自分でやりたいという欲求であり、無理に制しない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問6 次の文は、乳幼児の下痢があるときの食事についての記述である。不適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 下痢の原因は、食物アレルギーであることが多い。
- B 母乳は、症状があっても、止める必要はない。
- C 調整乳は、薄めて飲ませる。
- D スポーツドリンクは、薄めて飲ませる。
- E 消化のよい食事を少量ずつ与える。

(組み合わせ)

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | A | C |
| 2 | A | D |
| 3 | B | D |
| 4 | C | E |
| 5 | D | E |

問7 次の文は、食物アレルギーの一般的な対応についての記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 アレルギー予防のために、鶏卵は、離乳食では与えずに1歳から始める。
- 2 鶏卵アレルギーの子どもに授乳している母親は、鶏卵を除去する必要がある。
- 3 鶏卵アレルギーの場合、鶏肉の除去が必要である。
- 4 小麦アレルギーの場合、しょうゆの除去が必要である。
- 5 牛乳アレルギーの場合、カルシウムをアレルギー用ミルクで補う。

問8 次の文は、「学校給食法」第一条に関する記述である。( A ) ~ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

学校給食が児童及び生徒の ( A ) の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な ( B ) を養う上で重要な役割を果たすものであることにかんがみ、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施に関し必要な事項を定め、もつて学校給食の普及充実及び学校における ( C ) の推進を図ることを目的とする。

(組み合わせ)

- |   | A  | B   | C  |
|---|----|-----|----|
| 1 | 身体 | 判断力 | 食育 |
| 2 | 身体 | 行動力 | 食育 |
| 3 | 精神 | 判断力 | 道徳 |
| 4 | 心身 | 行動力 | 道徳 |
| 5 | 心身 | 判断力 | 食育 |

問9 次の文は、わが国における子どもの貧困と食生活に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子どもの20人に1人が貧困と言われている。
- 2 貧困世帯の子どもは、一般世帯の子どもに比べて、休日に朝食を食べることが多い。
- 3 貧困世帯の子どもは、一般世帯の子どもに比べて、家庭で野菜を食べることが多い。
- 4 貧困世帯の子どもは、一般世帯の子どもに比べて、インスタント麺やカップラーメンを週1回以上食べる人が多い。
- 5 貧困世帯の子どもは、炭水化物が不足し、たんぱく質、ビタミン、ミネラルの摂取量が多い。

問10 次の【Ⅰ群】の県と【Ⅱ群】のその県を代表する料理を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 秋田県
- B 山梨県
- C 香川県
- D 沖縄県

【Ⅱ群】

- ア ほうとう
- イ さぬきうどん
- ウ きりたんぼ
- エ ソーキソバ

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | ア | ウ | エ | イ |
| 3 | イ | ア | エ | ウ |
| 4 | ウ | ア | イ | エ |
| 5 | ウ | エ | イ | ア |

問11 次の文は、低出生体重児に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 低出生体重児とは、出生時の体重が2500g未満の新生児である。
- 2 低出生体重児の出生数に占める割合は、2005（平成17）年ごろから1割程度の横ばいである。
- 3 低出生体重児の背景には、若い女性のやせや妊娠中の体重増加不足がある。
- 4 低出生体重児は、体重増加させるため、母乳ではなく人工栄養とする。
- 5 早産の低出生体重児の離乳食は、修正月齢を参考にして開始する。

問12 次の【Ⅰ群】の食品と【Ⅱ群】の栄養量を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A ご飯（茶碗1膳・160g）
- B 鮭（銀鮭 焼き1切・60g）
- C ヨーグルト（全脂無糖 小鉢1皿・80g）
- D ほうれん草（ゆで 小鉢1皿・70g）
- E サラダ油（大さじ1・13.5g）

【Ⅱ群】

食品名	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	炭水化物 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンA μg	ビタミンC mg
ア	250	4.0	0.5	59.4	5	0.2	(0)	(0)
イ	120	0	13.5	0	0	0	0	(0)
ウ	16	1.8	0.4	2.8	48	0.6	320	13
エ	45	2.9	2.4	3.9	96	Tr	26	1
オ	142	15.1	9.5	0.2	10	0.2	22	1

(注) (0)：推定値、Tr：最小記載量の1/10以上含まれているが5/10未満

(組み合わせ)

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   | A | B | C | D | E |
| 1 | ア | オ | ウ | イ | エ |
| 2 | ア | オ | エ | ウ | イ |
| 3 | ウ | エ | オ | ア | イ |
| 4 | エ | ア | イ | ウ | オ |
| 5 | エ | イ | ア | オ | ウ |



問13 次の文は、野菜の摂取に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「健康日本21（第三次）」（令和6年 厚生労働省）によると、成人の1日あたりの野菜の平均摂取量の目標値は300gである。
- 2 「令和元年国民健康・栄養調査」（厚生労働省）における成人の1日あたりの野菜の平均摂取量は、「健康日本21（第二次）」（平成25年 厚生労働省）の目標値に達している。
- 3 野菜を摂取することは、ビタミン、ミネラルの補給となる。
- 4 年齢階級別にみると、「令和元年国民健康・栄養調査」（厚生労働省）における1日あたりの野菜摂取量の平均値が高い年代は男女とも20～29歳である。
- 5 「第4次食育推進基本計画」（令和3年 農林水産省）では、生産者支援のため、1日あたりの野菜摂取量の平均値の増加を目標に設定した。

問14 次の【Ⅰ群】の食品の栄養量と【Ⅱ群】の食品を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

食品名	エネルギー kcal	水分 g	たんぱく質 g	脂質 g	炭水化物 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンD μg
A	66	0.3	1.6	3.5	7.3	48	0.8	1.2
B	61	88.0	1.1	3.5	7.2	27	0	0.3
C	61	87.4	3.3	3.8	4.8	110	0	0.3
D	66	87.6	1.5	3.6	7.1	45	0.6	1.1

【Ⅱ群】

ア 牛乳 (100g)

イ 母乳 (100g)

ウ 乳児用調製粉乳 (13g)

エ 乳児用液体ミルク (100g)

(組み合わせ)

A B C D

1 ア イ ウ エ

2 イ ア エ ウ

3 ウ イ ア エ

4 ウ エ イ ア

5 エ ア イ ウ

問15 次の【Ⅰ群】の語句と【Ⅱ群】の離乳の進め方の目安に関する記述の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 生後5～6か月ごろ
- B 生後7～8か月ごろ
- C 生後9～11か月ごろ
- D 生後12～18か月ごろ

【Ⅱ群】

- ア 乳歯が生え始める。
- イ 歯ぐきでつぶすことができるようになる。
- ウ つぶした豆腐・白身魚・卵黄を試してみる。
- エ 自分で食具を使うようになる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | ア | ウ | イ | エ |
| 3 | イ | エ | ア | ウ |
| 4 | ウ | ア | イ | エ |
| 5 | ウ | イ | エ | ア |

問16 次のうち、「主菜」と関連のある記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A おもに体をつくるもとになる食品を多く使ったおかず
- B 野菜やきのこを多く使ったおかず
- C おもにたんぱく質の給源となるおかず
- D ラーメン
- E 卵焼き
- F かぼちやの煮物
- G おにぎり

(組み合わせ)

- 1 A B F
- 2 A C E
- 3 A D G
- 4 B C F
- 5 B F G

問17 次の文は、「保育所における食事の提供ガイドライン」（平成24年 厚生労働省）の記述である。【Ⅰ群】の食に関する保育環境と、【Ⅱ群】の食育において期待される学びや効果を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 栽培や飼育をする環境
- B 調理室が子どもたちに見える環境
- C 調理をする人や産地の人との関わりがある環境
- D 食材の特徴を知る環境

【Ⅱ群】

- ア 食物連鎖や自然の恵みとしての生態系を学ぶ
- イ 普段食べている食事を作っている人への感謝の気持ちをもつ
- ウ 調理の過程に興味をもつ
- エ 栄養の基礎知識を身に付ける

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | ア | ウ | イ | エ |
| 3 | ア | ウ | エ | イ |
| 4 | ウ | ア | イ | エ |
| 5 | ウ | イ | エ | ア |

問18 次の文は、「大量調理施設衛生管理マニュアル」（平成29年 厚生労働省）に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育士は、年に1回以上、検便を実施する。
- 2 加熱調理食品は、食品の表面を十分加熱することで食中毒を予防する。
- 3 調理後の食品は、すべて提供まで冷蔵庫に入れて保管する。
- 4 調理後の食品は、調理終了後3時間以内に食べる。
- 5 食中毒等が発生した場合のため、給食に使用した原材料および調理済み食品を-20℃以下で保存しておく。

問19 次の文は、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(平成31年 厚生労働省)によるアレルギー対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

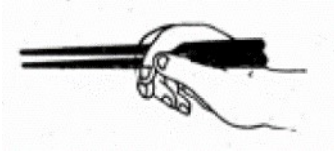
- A 安全確保のため、子ども全員が生活管理指導表を提出する。
- B 食物アレルギーの対応は、完全除去または部分除去で実施する。
- C 乳幼児期の食物アレルギーの原因は、鶏卵、牛乳、大豆が多い。
- D 家庭で食べたことのない食物は、保育所で日中に提供する。
- E 子どもがアナフィラキシーショックに陥った場合には、その子どもから預かっている「エピペン®」を職員が使用してもよい。

(組み合わせ)

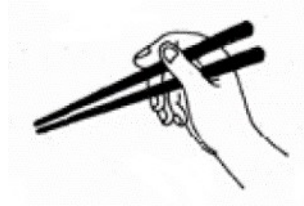
	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	○
2	○	×	○	○	×
3	×	○	×	×	○
4	×	×	○	×	×
5	×	×	×	×	○

問20 次の図は、はしのもち方を示したものである。正しいものを一つ選びなさい。

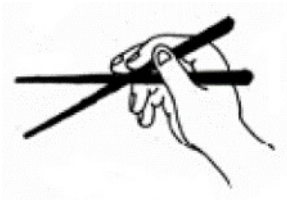
1



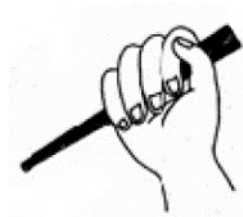
2



3



4



5

